

病害虫防除技術情報第 12 号

平成 22 年 9 月 28 日
三重県病害虫防除所

ダイズ圃場でミナミアオカメムシが発生しています

1. 対象作物：ダイズ
2. 対象害虫名：ミナミアオカメムシ
3. 発生状況

本種はダイズ子実の吸汁によって被害粒を発生させます（図）。三重県内では近年、紀州地域から分布を拡大し、中南勢地域の普通期水稻や畦畔雑草で発生が確認されるようになってきました。また、北勢地域の伊勢湾岸でも分布が確認されています。

予察灯（松阪市嬉野川北町）では、昨年まで誘殺数はごくわずかでしたが、本年は早い時期から発生が確認されており、誘殺数は 8 月以降、急増しています（表）。

北勢および中勢地域のダイズ圃場の一部では、9 月下旬から成虫の発生が確認されており、今後 10 月下旬まで発生が続くと見込まれます。



表 予察灯（松阪市嬉野川北町）における
ミナミアオカメムシ誘殺数の推移

調査月		2010年	3年平均
4 月		1	0.0
5 月		0	0.0
6 月		1	0.0
7 月		11	1.3
	上旬	5	0.0
8 月	中旬	26	0.7
	下旬	152	0.0
9 月	上旬	458	0.7
	中旬	142	0.0

4. 防除対策

- 1) 圃場での発生状況に注意してください。朝夕は葉の上で見つかることが多いです。
- 2) 北勢・中勢地域の山沿いや伊賀地域では、本種の分布は確認されていません。
- 3) 防除適期は結莢期から子実肥大期です。
- 4) 本種の発生地域では、ネオニコチノイド系や有機リン系の薬剤で防除してください。本種は一部の合成ピレスロイド系薬剤では、効果が低いことが確認されています。薬剤の選定は最寄の関係機関、農協等にご相談ください。
- 5) 本種の判別方法は病害虫防除所ホームページを参考にしてください。

<http://www.mate.pref.mie.jp/Bojyosyo/miwakekata/minamiaokusa.pdf>